

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(300)円/kgで処理した。
2. 材料(120)kgを(290)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(2,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(5)kgに対し、实地棚卸高は(3)kgであった。(2)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(305)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(60)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(210)円/kgで処理した。
2. 材料(80)kgを(200)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,200)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(8)kgに対し、实地棚卸高は(5)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(220)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(50)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(310)円/kgで処理した。
2. 材料(60)kgを(300)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,200)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(7)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(260)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(55)円/kgで処理した。
2. 材料(120)kgを(50)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(5)kgであった。(5)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(60)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(60)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(205)円/kgで処理した。
2. 材料(65)kgを(200)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(6)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(2)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(210)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(100)円/kgで処理した。
2. 材料(120)kgを(110)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(5)kgであった。(5)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(120)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(50)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(250)円/kgで処理した。
2. 材料(60)kgを(240)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,600)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(7)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(260)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(20)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(300)円/kgで処理した。
2. 材料(95)kgを(310)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(3,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(15)kgに対し、实地棚卸高は(7)kgであった。(8)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(310)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(80)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(250)円/kgで処理した。
2. 材料(85)kgを(220)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(2,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(8)kgであった。(2)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(260)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(50)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(210)円/kgで処理した。
2. 材料(80)kgを(205)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(720)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(5)kgであった。()kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(215)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(100)円/kgで処理した。
2. 材料(150)kgを(90)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(800)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(6)kgであった。(4)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(110)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(200)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(210)円/kgで処理した。
2. 材料(250)kgを(205)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(6)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(4,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(6)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(215)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(50)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(210)円/kgで処理した。
2. 材料(40)kgを(200)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(8)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(4)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(220)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(60)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(200)円/kgで処理した。
2. 材料(70)kgを(190)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(900)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(6)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(2)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(210)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(80)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(180)円/kgで処理した。
2. 材料(90)kgを(170)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(900)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(7)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(190)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(80)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(210)円/kgで処理した。
2. 材料(90)kgを(200)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,200)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(7)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(215)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(10)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(100)円/kgで処理した。
2. 材料(20)kgを(200)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(200)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(5)kgであった。(5)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(210)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(80)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(500)円/kgで処理した。
2. 材料(100)kgを(300)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(4,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高()kgに対し、实地棚卸高は()kgであった。()kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が()円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(90)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(350)円/kgで処理した。
2. 材料(100)kgを(330)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(2,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(7)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(360)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(200)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(280)円/kgで処理した。
2. 材料(150)kgを(300)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(2,500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(5)kgであった。(5)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(285)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(300)円/kgで処理した。
2. 材料(300)kgを(250)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(8)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(5,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(20)kgに対し、实地棚卸高は(14)kgであった。(6)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(320)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(90)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(250)円/kgで処理した。
2. 材料(100)kgを(230)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(6)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が()円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(120)円/kgで処理した。
2. 材料(50)kgを(120)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(800)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(50)kgに対し、实地棚卸高は(48)kgであった。(2)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(140)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(200)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(200)円/kgで処理した。
2. 材料(200)kgを(100)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(4)kgに対し、实地棚卸高は(3)kgであった。(1)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が()円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(200)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(300)円/kgで処理した。
2. 材料(300)kgを(320)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(10,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(100)kgに対し、实地棚卸高は(95)kgであった。(5)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(310)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(90)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(250)円/kgで処理した。
2. 材料(100)kgを(230)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(6)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(270)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(1,000)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(1,500)円/kgで処理した。
2. 材料(2,000)kgを(1,000)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(400,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(1,000)kgに対し、实地棚卸高は(900)kgであった。(100)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(1,800)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(60)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(200)円/kgで処理した。
2. 材料(70)kgを(210)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(8)kgに対し、实地棚卸高は(10)kgであった。(2)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(210)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(80)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(150)円/kgで処理した。
2. 材料(85)kgを(145)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(8)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(5)kgに対し、实地棚卸高は(2)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(160)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(150)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(105)円/kgで処理した。
2. 材料(200)kgを(100)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(2,500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(50)kgに対し、实地棚卸高は(35)kgであった。(15)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(150)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(50)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(100)円/kgで処理した。
2. 材料(60)kgを(95)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(4)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(7)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(105)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(60)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(105)円/kgで処理した。
2. 材料(65)kgを(100)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(1,100)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(5)kgに対し、实地棚卸高は(4)kgであった。(1)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(110)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(105)円/kgで処理した。
2. 材料(200)kgを(110)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(10)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(2,500)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(100)kgに対し、实地棚卸高は(97)kgであった。(3)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(110)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。

1. 直接材料を(100)kg消費したが、月末にならないと実際の単価がわからないため、予定価格(300)円/kgで処理した。
2. 材料(120)kgを(280)円/kgで掛で購入し、材料副費については月末にならないとわからないため、購入代価の(5)%を予定配賦している。
3. 月末になり、当月の材料副費(2,000)円を現金で支払った。
4. 期中に予定配賦した材料副費と実際に支払った金額の差額を材料副費差異で処理した。※不利差異
5. 月末になり、材料の实地棚卸を実施した結果、帳簿棚卸高(10)kgに対し、实地棚卸高は(5)kgであった。(5)kgの棚卸減耗が生じたので処理した。
6. 月末になり、材料の単価が(310)円/kgで確定したので、消費した際に予定価格で処理した分(+棚卸減耗分)の材料の予定価格と実際価格の差額を材料消費価格差異で処理した。※不利差異
7. 月末ということで、各差異勘定を売上原価勘定に振替えた。